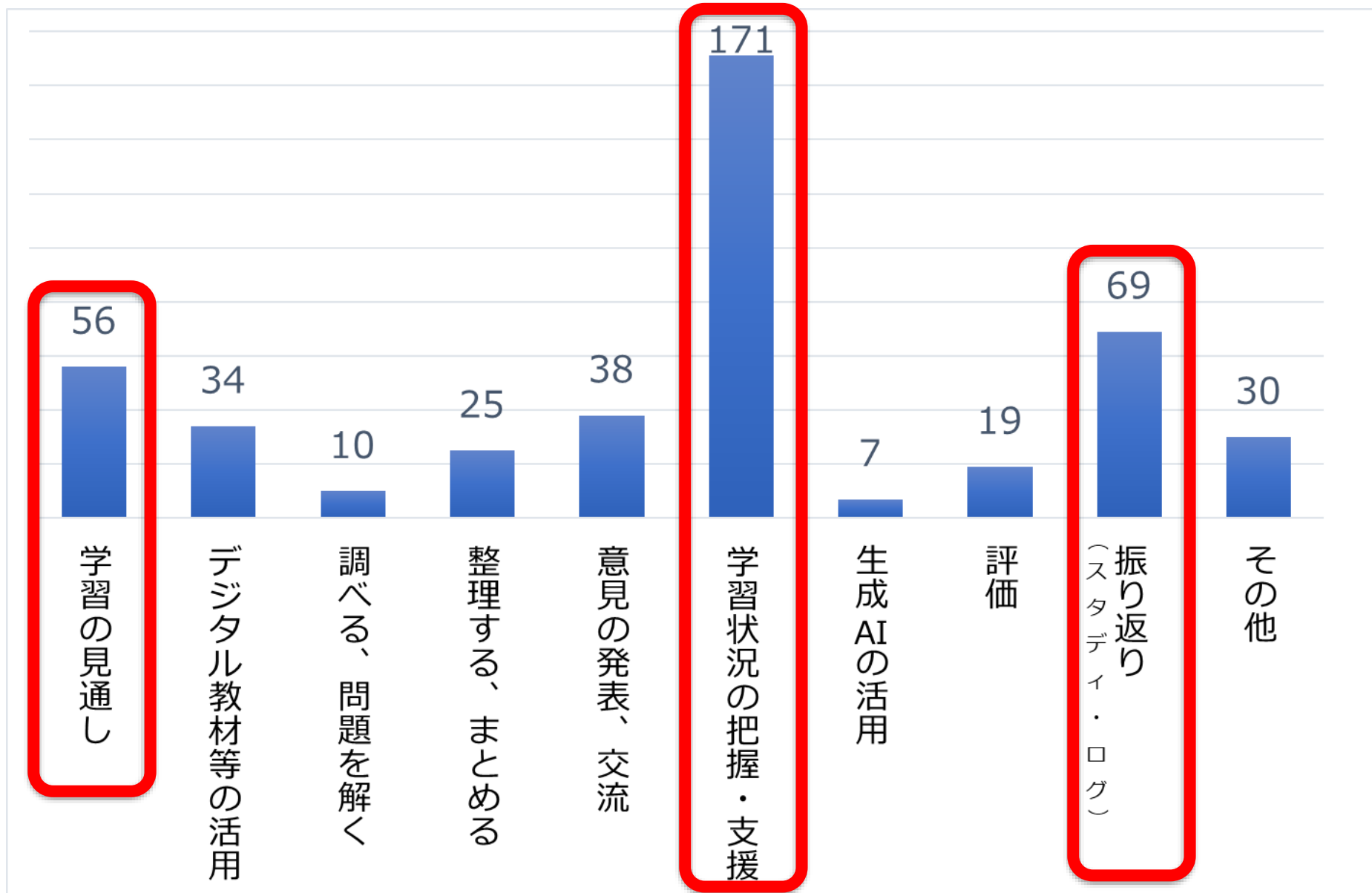


令和7年10月22日(水)
GIGA StuDX推進チーム プチ学習会

学校の事例から学ぶ！ ～クラウド活用×学習の見通し編～

※リーディングDXスクール指定校の事例をもとに作成

LDX指定校の取組内容【GIGA×指導の工夫・改善】



今日は何を学習するの？



この次は何をするのかな？

学習の見通しを提示



子供は自分で学びを進められるようになっていく

教師の丁寧な指導の積み重ねが不可欠

学習の手引き「今日の学習の見通しをたてよう」

1. 課題の確認

・英語の発音やイントネーション、音のつながりを意識して、音読できるようにしよう。
つまり、3③を頑張ってほしいです！

2. 新出単語確認 (5分)

3. 課題に取り組む (35分)

①②でも、②①でも、
時間配分も自分で決め。

取り組む順番

時間配分

クリアするレベル

学習の流れを確認

自分で学びを進める力をつける

1人で学ぶ



友達と学ぶ

学習の流れを提示

【取組内容】② クラスルームで「学習の流れ」を提示

The screenshot shows a Classroom interface for a lesson titled "1次式の項と係数" (Linear Equations: Terms and Coefficients). The interface includes a sidebar with navigation options like Home, Calendar, and Subjects. The main content area shows the lesson title, a date (July 5th), and a list of activities under "本日の流れ" (Today's Flow). A yellow box highlights the "1年数学" (1st Year Math) subject and the "1年1組 数学" (1st Year 1st Group Math) subject in the sidebar.

本日の流れ

①めあての確認

②授業

③班学習【自分一人で行ってもよし、班で協力してもよし】

- ・プリントの裏！
- ・ワークP50【今日学習した内容】
- ・動画で勉強

○1次の項と係数 <https://edpuzzle.com/media/668512c0d767309>

○文字式の加法・減法 <https://edpuzzle.com/media/6685149a475>

学習のペースや方法を自分で決められる

必要な資料も事前に共有

①学習の手引き

学習に入る前に、クラウド共有できるように「課題・手順・評価基準」などを準備し、主体的に学習を進められるようにする。

【個人のシート】

<p>8週目 お気に入りのテーマでブックトークをしよう。</p>		<p>学びの手引き ①テーマを選ぶ。 ②テーマに合う本を2冊選んで読む。 ③それぞれの本について、シートにまとめる。「題名」「内容、あらすじ」「感想」「紹介したいこと」を書く。 ④ブックトークのやり方を調べたり、高橋先生の手本をもとにしたりして、ポイント、コツをまとめる。 ⑤ブックトークの原稿を考える。 ⑥練習する。</p>	
<p>6年 1組 日暮 名莉</p>			
<p><My学習計画></p>			
日付	今日の課題	やること	かかると時間(目安)
7月12日	それぞれの本について、シートにまとめる	①テーマを選ぶ。 ②本を選んで読む。 ③シートについてシートにまとめる	0分 0分 20分
7月10日	それぞれの本についてシートにまとめる。終わったらブックトークのポイントをメモする	①シートにまとめる。 ②ブックトークのコツをまとめる	15分 25分
7月17日	ブックトークの原稿を終わらせ、残りの時間で発表練習をする	ブックトークの原稿を考える。 発表練習をする。	30分 10分
<p><学びの軌跡></p>			
テーマ	①選んだ本のタイトル	②まとめたシートの画像をはらう。	④ブックトークのポイントやコツ
経済	めいちゃんのお500円玉 世界のお金図鑑		<ul style="list-style-type: none"> 本をよく理解し、内容を得意に話せるようにすること 学習の記録、感想人物を紹介し、聞き手が興味を持てるようにすること 読み聞かせやストーリーテリング、読書などを伝えること 練習や小発表を繰り返して自信、実感を高めること

②資料

学習課題を解決するために必要となる資料・教材・リンク先などを準備しておく。

進め方リンク

https://drive.google.com/file/d/1_SNLsmQuNLEGCQHkP9kSbgqRD-MqPpR0/view?usp=sharing
<https://drive.google.com/file/d/1ocUjtEcdpBb64YTJW8i7H7cVHn4W30s2/view?usp=sharing>
<https://drive.google.com/file/d/1f4cX1yBs7uyHoFDBbhY2QhA8q37NV1Fd/view?usp=sharing>

③教科の見方・考え方シート

はじめは教師が作成したものを共有し、場合によっては子供が作成できるようにしていく。

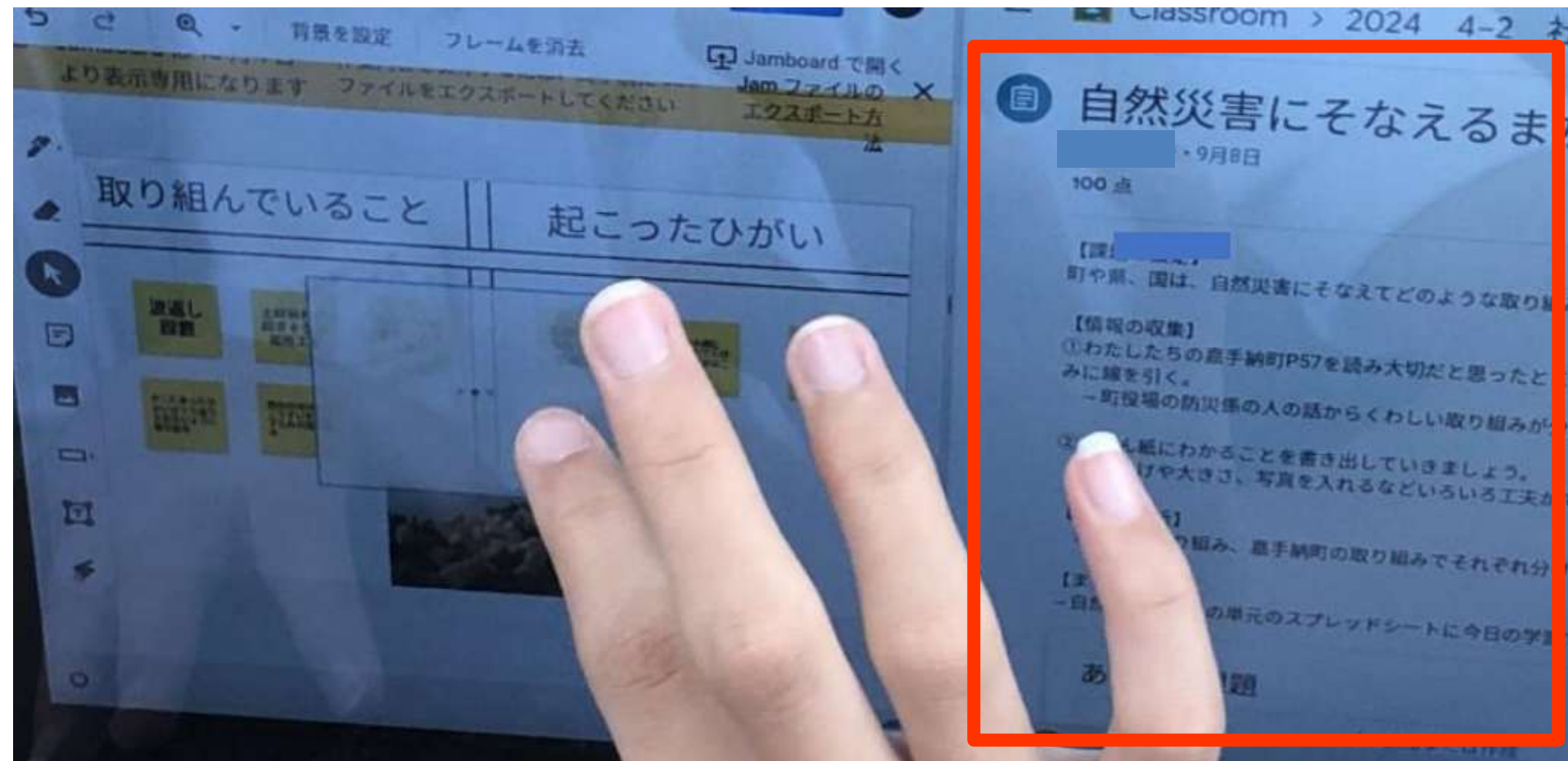
【ポイント】

- ・資料と意見を参考に作る。
- ・資料と意見との結びつきを考える。
- ・説明力が強くなるように練習を考える。

【コメント】

- 「授業だけでなく、どんな活動が効果的なのかを考えてみる！」
- 「どんな言葉で呼びかければ理解してくれそうかな？」

端末画面を分割して学習の流れを提示



いつでも何度でも めあてに戻れる

単元を通じた学習の流れを共有

2組 3章方程式 めあて・ふりかえり

2組レベル別問題

2組共通作成スライド

解き方ヒント

解き方ヒント

- 方程式を利用して問題を解く手順
- ①何を文字で表すかを決める。
- ②数量の関係を見つけて、方程式をつくる。
- ③方程式を解く。
- ④解が問題に適しているかを確認する。
- ⑤単位をつけて解答する。

あなたがオーナーです。このファイルの最終閲覧履歴に追加された変更はありません。

★ファイルへのアクセス権を必要としている共同編集者がいます

1章1問 3章2問 3章3問 3章4問 3章5問 3章6.7問 3章8問 3章9問 3章10問 3章11問

学習の進捗を把握できる

問題を解く手順も共有

2組 3章方程式 めあて・ふりかえり

2組 別問題 成用スライド 解き方ヒントとスライド

解き方ヒント






○方程式を利用して問題を解く手順

- ①何を文字で表すかを決める。
- ②数量の関係を見つけて、方程式をつくる。
- ③方程式を解く。
- ④解が問題に適しているか確かめる。
- ⑤単位をつけて解答する。

共有

1人でも安心して学べる

学習に必要な事項を1枚のシートで共有

時	日付	課題	学習計画 何を/誰と/どんな方法で/どんなことを意識して/時間	本日の成果 (画像)	振り返り ☆「学んだこと、できたこと」+「次回に向けて」振り返る。	評価 学習計画
1時間目	11月11日	◎日本文化のよさを伝える文章を書く見直しをもとう。	前半は、教科書の例をクラスで読み取り見直しを持つ。後半は、グループで相談して題材を決める。		今日は、日本文化のよさを伝える文章を書く見直しを立てることができました。最初はクラスみんなで前にみんなで考えたのが使われているかどうかを考えて、それが終わったらグループで話し合い題材を決めました。今日はグループのみんなで本を読んで終わってしまい情報を集められなかった次の時間からは情報を集められるように頑張りたいです。	A
2時間目	11月12日	◎情報を集めて、良さを整理しよう。	前半は、グループのみんなで本やインターネットを使って自分たちが必要な情報を集めたり集めた「よさ」を分類して後半は、一人で(分からないことがあったらグループのみんなに相談しながら)自分の紹介したい和食の地域性について足りないところなどを調べる。		今日は、和食の「良さ」や「魅力」について調べました。最初はグループのみんなの本を読んで情報を集めたり「良さ」を分類したりしました。それが大体終わった後は、自分たちが紹介したい和食の地域性について本を読んだりインターネットで調べたりしました。関西と関東の違いがあったり都道府県で違いがあったり面白かったと思います。もう少し情報を集めたいので来週学習でやってみようと思います。	S
3時間目	11月13日	◎伝えたい良さを考えて構成を決めよう。	今日はこの時間で構成メモを困ったらグループのみんなに相談しながら個人で完成させる。構成メモが完成したら詳しく書くものの良さについて調べそれが終わったらグループの中で困っている人がいたら助け合ってこの時間でグループのみんなが構成メモを完成できるように頑張る。		今日は、文章を書くための構成を考えることができました。簡単に書くところや詳しく書くところをどうしようか考えながら今の構成を考えました。残り時間は最後の一文は、みんなの情報がひかれるように一文にしたいのでそれを書いてグループの中で困っている友達を助けられなかったけど詳しく書くところの情報がたくさん集まったので良かったです。次回からは文章を書き始めるので今日考えた構成を見ながら和食の良さを伝えられるような文章を書けるように頑張りたいです。	S
4時間目	11月14日		今日の1時間では、構成メモをもとに文章を書いて情報が足りなかったら本やインターネットで調べてとりあえず文章が完成するところまで終わらせる。次の2時間目では、個人だけで困ったらグループのみんなに相談しながら画像や筆者の技を入れるなど文章をより良くできるように頑張る。		今日は、構成メモをもとに日本の文化の良さを伝える文章を書くことができました。中を書いているときに情報が少し足りないところがあったのでそこは学習計画にも書いたように本を読んだり、インターネットで調べたりすることができました。まだ半分くらいで完成はできなかったため次の時間で筆者の技が使えたり画像なども入れられる余裕ができるように家で調べてきたりして頑張りたいです。	S
5時間目	11月15日		前半は、個人で先生の文章をよりよく出来るようにチェックシートを見ながらなるべくレベル3のコメントを参照しながらより良い文章に変えよう。		今日は、昨日の続きから文章を完成させて筆者の技や写真を入れることができました。中を書いた時に時間を結構使ったので写真がまだ一枚しか入れられなかったり筆者の技も一つや二つくらいしか入れられなかったりできなかったりで家でやっていた先生が次の授業でも少し時間を取ると言っていたのでその時間で終わらせるように頑張りたいです。でも筆者の「問いかけ法」と「アンボ法」は使おうことができましたので良かったです。次の時間では、もっと筆者の技が使えるように家で教科書を読んだりして頑張りたいです。	S
6時間目	11月16日					
7時間目	11月17日					

評価
ポイント

単元計画

単元目標

課題

本時の
計画

本時の成果
(画像)

振り返り

いつでもどこでも何度でも確認

【取組内容】 学びの手順を示す②

テーマ

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実



【変容：考察】

これまでも技能教科では、個別のペースで作業を進めることができたが、クラウドを活用することで、生徒の作業の進捗状況を瞬時に把握できるようになった。また、classroomに学びの手順を示すことで、学年や学級が変わるたびに板書を書き直す手間も省け、欠席生徒がいた際もclassroomがあることで、前時を振り返りやすくなった。そのため、安心して自分の作業を進めることのできる様子が見られる。その他にも、これまで以上に生徒への個別のサポートに入ることができるようになったため、授業時間内で完成させることのできる生徒が増えた。

安心して学びを継続できる

学習の見通しを共有することで

子供は

- 目標が明確になり、何を学ぶのかがわかる
- いつでもどこでも何度でも必要なタイミングで確認できる
 - 学びの方向性を見失わない
 - 安心して学びを継続できる
- めあてと振り返りが結びつき、次の学習の見通しへつながる
- ペースや時間配分も自分で調整できる
 - 自分で学びを進められる力をつける



教師は

- 個に応じた指導や支援を充実できる
- 子供へ「見通し」の確認を促すことが容易になる



主体的に学び続ける子供の育成へ

リーディングDXスクール事業ポータルサイト



リーディング
DXスクール一覧

AI 生成AIパイロット校一覧
(R6年度まで)

公開授業・
公開学習会予定

取組紹介

指定校実践事例・
動画

特集ページ

文部科学省

Q、キーワードによる検索



リーディング
DXスクール事業に
ついて

リーディング
DXスクール一覧

AI 生成AI
パイロット校一覧

公開授業・
公開学習会予定

取組紹介

指定校実践事例・
動画

GIGAスクールに
関する通知

特集ページ



リーディングDXス
クール事業ポータル
サイト

↑ 事例はこちらよりご覧いただけます